



2025

hiroba
わが広場



わが
か
つ
き
私たちが、
変えます。
創ります。
協働参画社会。

第184号(令和7年1月1日) ◆発行 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」 会長 上野 誠
◆事務局 TEL/FAX 266-0034 メール komiwaka@bj.wakwak.com HP:URL:http://www.komiwaka.com/

絆を深め 地域づくりを

若槻地区住民自治協議会 会長 上野 誠



新年あけましておめでとございます

令和7(2025)年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。若槻に暮らす皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は若槻地区住民自治協議会(コミわか)の事業運営に、ご支援ご協力を賜りありがとうございました。本年も皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症により、私どもの社会活動は大きく停滞せざるを得ない状況が数年続きました。令和5(2023)年5月に、コロナ感染症の位置づけが5類に移行してからは以前のような日常が徐々に戻ってまいりました。本会の活動も感染症に留意しつつ休止事業の復活や人数制限の解除などにより事業の拡大に取り組んでまいりました。

本会では活動の柱として「若槻まちづくり計画」を策定し、5年を一期としてこれまで10年間取り組み、それらの検証を経て「第三次若槻まちづくり計画」を令和5年4月に策定しております。大きな目標は「生活する環境をより良くし、人とひととがつながり、地域で支え合えるまちの実現」です。身近な所で発生する火災や事故に対しても近所で緊急連絡や共助ができる仕組みを構築しようとするものです。基礎となるのが災害時などに一人では避難できない方を地域で支える体制づくりです。避難行動要支援者への支援体制づくりというもので、各区による取り組みではありますが民生児童委員と区長が一緒になってその構築を進めています。

そのような中で能登半島地震が令和6(2024)年元日の午後4時10分過ぎに発生し、ここ若槻

地区でも大きな揺れを体感

しました。若槻に隣接する豊野地区では震度5弱が観測され、本会は災害対策本部を設置し情報を収集しています。稲田区では水道管破損による漏水が起き深夜帯まで緊急修理工事を実施。さらに浅川護岸(石積み)損傷が1月10日に発見され堤防道路(市道)は陥没事故につながる恐れがあるため通行止めとなり3月下旬まで復旧工事が行われました。

コミわかには様々な協力団体に支えられています。区長部につながる団体に赤十字奉仕団若槻分団があり、各区に班が編成されています。10月には各班が参加して災害発生時を想定した避難所運営訓練を机上でカードなどを使って行い、避難者個々の状況を考慮した避難所の運営が重要であることを学んでいます。今後、区長部・防災部会との連携が進むことが期待されます。

能登半島地震から1年、令和元(2019)年の台風19号による千曲川堤防決壊・氾濫災害から5年、平成26(2014)年の白馬村神城断層地震から10年を経た今、地域を挙げて防災・減災につながる活動を進めたいものです。

土曜朝市やスポーツフェスティバル、若槻総フェスタなどを通じて、若槻地区の皆さんが出会い、さらに絆を深める機会となればと願うとともに、本年が若槻地区の皆さまにとりまして健康で平穏な年となりますことをお祈り申し上げます。

